

## 葉山町立南郷中学校

研究テーマ：「考えて行動できる人を育てる学びの構築」

～探究的な学びを中心に～

### 1 実践の目的

#### (1) 主題設定の背景と目的

南郷中学校は、長い間、教科授業研究に注力してきた。3年前は、学びづくり研究授業にも携わってきた。校内研究会においても、「『分かる』ことの質的改善」という研究主題が設定され、実践してきた。これからもこれらを踏まえた授業研究は継続されるが、昨年度から、総合的な学習の時間のあり方を根本から考え直す流れが生まれた。それは、葉山町小中一貫教育に向けての準備でもあった。南郷中学校と長柄小学校は令和7年度、施設分離型小中一貫校の開始を目指しており、総合的な学習の時間の系統的なカリキュラム編成の必要性について両校合同で、校内研究会を行った。両校それぞれの研究に職員が参加したり、小中合同研究会を開催したりと協議を重ねてきた。そして今年度も総合的な学習の時間の研究に取り組んだ。生徒の興味関心に基づく探究活動の構築のため、教科・学年横断的な研究に取り組んでいる。また、小中連携の動きもさらに活発になっていくことを踏まえ、総合的な学習の時間の研究テーマを小学校と連携し、小中9年間の系統的な学びのカリキュラムを構築しているところである。こうした取り組みの背景をふまえ、生徒につけたい力を以下のように設定している。

- ①責任ある行動をとる力
- ②新たな価値を創造する力
- ③対立やジレンマに対処する力

である。平和学習、自分たちの住む地域について考える学習、キャリア教育など、生徒の興味・関心に基づく探究課題の構築のため、教科・学年横断的な研究に継続して取り組みたいと考える。

### 2 実践の内容

#### (1) 校内研究の体制

研究推進委員会

○研究テーマ、研究協議の方法、指導案等の決定

○全体推進、研究の方針、年間計画

○教科部会 ○研究協議会

○次年度の方向性 他

校内研究会

○公開授業研究・研究協議

○講演会による研修

○研究のまとめ、反省 他



学年会

○指導案の検討 他教科部会

○重点目標の設定

○授業研究（指導案検討などを含む）

○成果と課題 等

#### (2) 取り組みの内容

##### ① 小中一貫校に向けての合同研究

講師：小田部英仁先生

4/26 第1回小中合同研究全体会

5/26 第2回小中合同研究全体会

「中2を想定した単元づくり」

7/ 5 第3回小中合同研究会

- 「小2・5、中2・3の単元計画発表」  
9/27 第4回小中合同研究  
全体会  
長柄小学校5年生授業研究  
10/25 第5回小中合同研究  
全体会  
本校第2学年 進路学習  
2/21 第6回小中合同研究  
全体会  
「今年度のふりかえり」  
② 各学年の総合的な学習の授業研究会の開催  
6/30 校内研究発表会  
本校第3学年「平和学習」  
1/30 校内研究発表会



本校第1学年

「わたしの理想の世界」

- ③ 生徒理解に関する研究会  
8/25 講師：湘南三浦教育事務所  
SSWアドバイザー  
青木ひふみ先生  
1/15 講師：芳川玲子先生

### 3 実践の成果

#### (1) 子どもや教師の変容



総合的な学習の時間における探究的な学びを模索する良い機会となった。小中両校それぞれの研究会や、9

年間の学びのつながりを意識した小中合同研究会を行ない、活発な話し合いがもたれた。生徒が主体的に課題意識を持てるよう探究課題の設定、そして単元構想を構築していくことの大切さを皆が認識し、総合の在るべき姿に近づこうと、実践においても生徒に働きかけられたことが大きな成果としてあげられる。

また、生徒に関する具体的な事例を取り上げることで、小中の教員にとっての貴重な生徒理解の場となっている。対処の仕方や捉え方などについて意見を交換し、今後の課題等を見つめ直す機会として有効活用できた。

### 4 今後の展開

#### (1) 今後の研究の方向性

昨年度から総合的な学習の時間のあり方を根本から考え直し、各学年新しい総合の学習の時間の取り組みを模索している。来年度は総合的な学習の時間の研究を始めて3年目にあたり、小中連携の学びづくり研究発表を控えている。研究テーマを小学校と連携し、小中9年間の系統的な学びのカリキュラムの構築へ向けて取り組んでいきたい。

#### (2) 課題解決へ向けて

昨年に比べて今年度は、平和学習や進路学習などの分野で新しい総合の学習の構築に取り組んだが、生徒の探究課題設定や時間数の確保など、さまざまな課題はある。今後は、探究課題設定へ向けてのより効果的な授業研究の継続と効率的で効果的な授業計画を考えていきたい。また、令和7年度の南郷中学校区小中一貫教育完全実施へ向けて、整理された分掌グループにおいて小中の協力体制を強化し、研究を進めていきたい。